

あたま 市議会だより

第36号
平成30年
12月10日

平成30年11月定例会主な日程

- 11月29日(木) 本会議(議案上程) 10:00~
- 12月11日(火) 本会議(質疑・一般質問) 10:00~
- 12月12日(水) 本会議(質疑・一般質問) 10:00~
- 12月13日(木) 観光建設公営企業委員会 10:00~
- 12月14日(金) 総務福祉教育委員会 10:00~
- 12月18日(火) 本会議(審議採決) 10:00~

※日程は変更になる場合がございます。



- P2~8 平成30年9月定例会 質疑および一般質問(要旨)
- P8 議会のはてな?
- P9 可決された意見書・討論
- P10~11 平成30年9月定例会 議決結果・各委員長報告
- P12 議会からの報告・お知らせ 編集後記



平成30年9月定例会について

9月定例会は、9月28日から10月23日まで26日間の会期で開催し、議案14件、認定10件、報告2件、発議案3件、選任1件、諮問1件について審議し原案のとおり可決等されました。

表紙写真：決算特別委員会の様子

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1 TEL 0557-86-6644 FAX 0557-82-7287
E-mail gikai@city.atami.shizuoka.jp

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。<http://www.city.atami.lg.jp/shigikai/index.html>



和田翔平 議員

熱海進政会議員団

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

市長の所信表明について 熱海国際映画祭について

質問 「熱海2030ビジョン」を実現する具体策として、就学前保育・教育について完全無償化に取り組みと述べられた。これについて前回の定例会で言及したが、国の方針で3歳児から全世界帯の無償化が決定しており、本市独自に未満児を含めた完全無償化を提案したが、その実現に向けて検討を行うのか。

答弁 今回、無償化については0歳から2歳児の子どもたちの利用料についても、所得に関係なく無償化し、保育、幼稚教育を希望

する方々がすべてサービスを受けられるという全入化を前提としている。

質問 課題となったPR不足解消の具体的な提案としてSNSを利用した情報発信の改善を提案する。当イベントの実行委員会が行った※SNSでの情報発信は、他の類似イベントと比較しても十分とは言えない。情報を逐一発信する事で、お客さんの興味を掻き立てるとともに、実行委員会が活発に活動している印象付けられるかがか。

答弁 実行委員会の

姿勢として全てが整ってから情報発信を行うとした事が、今となっては大きな反省点である。五月雨式でも確定した情報を順次出すことで、映画祭の気運を早くから高めていく事が必要であった。今後、映画祭における情報発信の一手法として※SNSの利用など、さらに効果的な方策を検討する。



熱海国際映画祭について

(仮称) 熱海フォーラムについて

質問 「熱海国際映画祭」について現時点での当局としての総括を伺いたい。

答弁 第一回目の映画祭としては、一定の評価をいただけたと考へる。しかし準備が遅れ、大幅なPR不足となり、結果目標来場者1万人を大きく下回る5,100人余りと目標に届くことができなかった。

質問 来年度も継続するとの事だが、来年はどのような組織づくりをするのか、改善点は。

答弁 引き続き実行委員会、構成企業等と協力・連携しながら皆様にご支持いただける映画祭の構築に努力する。

質問 着工は2020年度以降ということだが、具体的にいつからなのか、計画を進めるのであれば、そ

のスケジュールを市民に対し発表すべきではないか。

答弁 山積する課題への取り組み状況を踏まえつつ、議会の皆様に相談させていただきながら、その時期を判断したい。

要望 その時期は今すぐであると思う。この熱海の街に、市民が望んでやまない市民ホールが10年以上もない状況が続く。本当にそれで良いのか。もう少し市民の声に耳を傾けてほしい。



赤尾光一 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会



熱海国際映画祭

※ ____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。



いなむらちひろ 稲村千尋 議員

水道事業会計について 家具転倒防止金具の取付けについて

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(副委員長)
公共施設整備等特別委員会

質問 水道事業の財政計画書では、水道料金を5年後に15%、9年後に9%値上げをする計画である。今後14年間に二度の値上げをした場合でも、水道料金の借金は49億8,200万円増え、平成43年度の企業債残高は95億9千万円になる見込みである。水道事業の借金が莫大になる要因は二つある。一つ目は老朽化した水道管の更新費用。二つ目は柿田川湧水を熱海へ引いており、県へ支払う水道代の高額さである。昨年度は、7億6,054万円支払っている。

答弁 今後の課題として認識しており、将来の水需要を見定め考える。

質問 予測が難しい地震災害に備えるには、住宅の家具の固定が重要である。本市における家具転倒防止金具の取付け事業は、平成8年度から高齢者・障がい者世帯を対象に開始

答弁 家具転倒防止金具の取付けは、毎年度自主防災会に依頼してきたが、今後は本市のホームページや広報あたみ等を活用し市民の皆様への周知に努める。

平成21年度からは木造住宅に住んでいる市民を対象に実施した。取付け実績は1,317世帯。本市の総世帯数の6%。高齢者がいる世帯数の11%しか設置していない。事業の更なる周知と今後の取り組みは。

答弁 家具転倒防止金具の取付けは、毎年度自主防災会に依頼してきたが、今後は本市のホームページや広報あたみ等を活用し市民の皆様への周知に努める。



市長所信表明「宿泊税」を充当する 「熱海版※DMO」について



たかはしゆきお 高橋幸雄 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(副委員長)

質問 市長が所信表明で述べた宿泊税を充当する観光施策「熱海版※DMO」は、組織としてエントリーする機能は既に取り組んでおり、あとは体制の構築とのことだが、体制とは過去に取り組んで頓挫した「観光協会の一体化」にもう一度取り組むことなのか。「熱海版※DMO」の方向性について、当局の考えを聞きたい。

答弁 「熱海版※DMO」の方向性については、本市が魅力ある温泉観光地として継続して発展していくことを具現化していくための戦略とその実現をけん引する組織の構築であると考える。議論は熱海市観光戦略会議を中心に進めていきたいと思っております。現時点では示すことができないが、「熱海版※DMO」組織は、熱海市内各地域の魅力向上を支える各地区の観光協会等の取り組みを基盤

とした上に構築されるところを期待している。

要望 熱海の観光が持続的に発展していく上で観光地経営を行う※DMOのような組織の必要性は、私も認識している。※DMO組織を検討する上では、各地域の資源、人材を活かすことを念頭に検討していただき、各地区の観光協会がより活動しやすい環境づくりを進めるため財政的援助を含め、協力・支援の方法をしっかりと議論いただきたい。今その財源となる「宿泊税」に関心が移っているように思えるが、その前提として観光地経営のあり方※DMO組織が何をするのかを、市民や観光関連事業者がしっかりと納得しなければ法定外税の導入など机上の空論に終わってしまうことを肝に銘じて取り組まれるよう強く要望する。



やま だ はる お
山田治雄 議員

熱海進政会議員団
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
(委員長)
公共施設整備等特別委員会

梅園の敷地管理はこれで良いのか 姫の沢陶芸センター廃止の市長説明は不十分

質問 梅園の公園敷地となつている用地の中に、本市が全く管理も使用もしていない所が一回地あり、その面積は実測4,312㎡、坪にして約1,300坪もあるが、この場所を本市はなぜ公園用途に管理し活用しないのか。代表監査委員の意見を求める。

答弁 当該敷地は、草木が生い茂り、ご指摘のとおり十分な管理がされているとは言いがたい状況にある。また、急傾斜地であることから、公園として活用することは困難と思われる。

が、当局においては、当該土地の適切な維持管理について検討されることを望む。

質問 姫の沢陶芸センターは、40年間有効に多くの方々が、陶芸に「生きがい」と「喜び」を感じ学んでおり、またコミュニティの場でもあった。本市はこれを廃止することについて、齊藤市政の「市民を大切にす」手法として、この方々に十分説明し理解を得ているか。

答弁 陶芸センターの廃止については、次期指定管理のあり方を

議論、検討していく中で専用施設としての更新はしないものとし、施設の老朽化や平成30年度末の熱海市振興公社解散に伴う事業の担い手がなくなるなどの説明をしてきたところであるが、現在に至るまで利用者の方々に十分な理解を得られていないことは反省しなければならぬ。陶芸メニユーの人材確保に努めることや民間陶芸体験メニユー等を周知すること生涯学習の推進を図っていききたい。

大規模災害への対応防災について

質問 台風12号により熱海港芝生広場周辺は大きな被害を受けた。初島では台風時の高潮等の対策をしないと今回同様の被害が起きかねない。

答弁 この台風は今までにないルートで接近し初島漁港で整備中の施設等に被害をもたらした。今後は初島の住民と協議をし、被災の復旧を最優先に行い、休憩施設等の整備は対策を講じながら来年度整備に振り替える。

質問 夏休みのような繁忙期に自然災害により交通機関が麻痺した場合、多くの帰宅困難者が発生する。ラスカ熱海ができた現在、自然災害等で交通機関に被害が生じ運行が困難になったとき、JR東日本、JR東海とはどの様な話し合いができているのか。

答弁 平成29年度より観光地としての訪日外国人に対する防災対策について、静岡県東部地域局と話し合いの場を設けている。本年度外国人だけでなく全ての観光客が災害時において帰宅困難者となり、相当の人数がJR熱海駅に殺到する可能性があることがクローズアップされ、JR東日本熱海駅長、JR東海熱海駅長、ラスカ熱海店長にお集まりいただき、駅関係者としての立場から状況をうかがう場を設けた。引き続き関係する方々と検討・協議を行っていく。



すぎ やま とし かつ
杉山利勝 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会



防災訓練の様子

※ ____で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。



よね やま ひで お
米山秀夫 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

し尿浄化層汚泥を浄水管理センターで処理する施策の問題点について／熱海国際映画祭報告書について

質問 下水道加入者は、下水道施設の維持管理費用として、その使用量に応じた料金を払わねばならない。その一方、し尿・浄化層汚泥を利用しては、無料（税金措置）で行っている。これからは、下水道施設を利用することになるのだから、使用料を払わなければならないのではないか。

答弁 下水道使用料とは、排水管や管きよその他の施設を利用し、終末処理場にて排水処理を行うという総体を使用することに係る使用料といえる。対して

し尿・浄化層汚泥の処理は、終末処理場の設備を自治体で利用し、し尿等を処理する事になる。下水道使用料の徴収範囲からは逸脱する。現計画においては、下水道事業会計に対してし尿等処理の手数料を一般会計において負担することになる。

質問 報告書から1万人の目標に対して5,160人と満たなかったとある。特に初日が1,800人で、ここに全日程の3分の1以上が集中している。多くの人は、初日の有名人を見に来たのであ

て、映画自体を見に来たのではないように思う。当局の認識を尋ねる。

答弁 オープニングセレモニーを賑やかなものとすべく、急ぎよ招待券を作成し、多くの市民に協力を願った。映画祭の3分の1を占める集客者は、自発的に映画を楽しみに来られた方ではないと認識している。



学校等の子どもたちに対するエアコン設置について
台風災害後の道路の大渋滞について

質問 学校等の95教室があるなかで、エアコンが設置されているのは、わずか4教室しかなく、全教室にエアコンを設置する考えはあるか。

答弁 この夏の猛暑や、児童生徒の熱中症に起因する死亡事故等を踏まえ、小中学校の普通教室を優先して設置していく考えである。合わせて、公立幼稚園にも進めていく。

質問 災害後の道路の通行止めにより、本市の道路の交通の弱点が浮き彫りとなり、大渋滞を引き起こした。この大渋滞の原因は何だったのか。また、少しでも渋滞を緩和させるためにどのような対策をとられたのか。

答弁 通行止めの区間において、バイパス優先の通常の信号制御のまま長時間

稼動していたことが大きな原因であったと考えられる。あらかじめ計画的に行われる通行止めの場合には、熱海警察署から本市へ連絡をもらうことになるが、今回は事前連絡がされなかったため、渋滞の発生を把握した後に熱海警察署に対し対応の要請を行った。

質問 防災道路の役割を担う迂回路は、南熱海地区にとって重要な課題であると思うが、早急に取り組むことができるか。

答弁 災害時における迂回路の必要性は認識している。課題はあるが今後引き続き検討していく。



こ もり たか まさ
小森高正 議員

熱海進政会議員団

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)



たけべ たかし 議員
竹部 隆

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

県営駿豆水道料金問題について 高齢者外出支援タクシー利用券の発行について

質問 県営駿豆水道料金問題について、これまで基本料金を主体とした支払いを、使用水量による料金に変えるよう、本市、三島市、函南町の二市一町の首長が足並みを揃えて川勝知事に対して改善を要求できないのか。

答弁 県営駿豆水道の受水費問題は、長年にわたる非常に大きな問題であり、二市一町で構成されている駿豆水道利用者協議会で取り組み、平成29年10月現行料金体系の見直しの要望書を県知事及び県企業局長に出しているが実現には至っていない。

ない。受水市町の足並みを揃え、受水費見直しに関する要望活動は、引き続き二市一町の連携を基本に動いていく。

質問 高齢者への外出支援策としてタクシー利用助成券交付事業を行っている近隣の伊豆の国市や伊豆市、伊東市に倣い、本市も高齢者が外出できる施策を実施しないか。

と認識している。地域サロンなど身近で歩いて行ける居場所づくりに関する施策に取り組んでいる。山間部などに住む交通不便地域対策には、関係機関との連携が不可欠であり、公共交通会議を開催し対策を検討する。

答弁 過去に行った高齢者外出施策の検証の結果、外出目的がなければ外出する動機はなっていない。閉じこもりがちな高齢者を外出させるには、目的を創出することが重要



議案第53号指定管理者の指定について 図書館について／別荘コンシェルジュについて



せんみょうじ 泉明寺みずほ 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(副委員長)
広域行政推進特別委員会

質問 熱海市子育て支援駐車場無料利用定期券について、全ての駐車場を対象とするなど、拡大利用ができないか。

答弁 指定管理者の収益を圧迫する事にも繋がるので個別に協議を行い、慎重に対応していく必要がある。

質問 市営駐車場を利用して図書館に来館した方に対し、市営駐車場の減免を受けられる事はできないか。

答弁 指定管理者との協議により対応していく必要がある。

質問 税務署の駐車場を閉庁日時に借りる事はできないか。

答弁 土日に限り駐車スペースを借りているが、施設管理の観点から一般の図書館利用者については対象外となっている。税務署と相談したい。

質問 別荘コンシェルジュという名前から※パトラー的な機能を期待するが、認識の違いはあるか。

答弁 別荘所有者個々の要望に応えられる存在を目指したものの。※パトラー・コンシェルジュの機能を併せ持つものにできるよう取り組む。

質問 担当者に生きた情報を伝えてもらうために予算をとって様々な体験をしてみようとは思っては、もしくは外部委託。

答弁 今後予算を確保しニーズに応えられる情報提供に努めていく。

質問 別荘所有者専用ホームページに渋滞解消のための伊豆スカイラインの利用等を案内すべきでは。

答弁 交通案内や情報等リアルな対応ができるように取り組んでいく。

※___で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質問 図書館の整備については再検討が行われているが、現状はどのようなになっているか。

答弁 平成25年に策定した「熱海市新図書館構想」において、新図書館については、利便性や機能性を重視して新しく建設することが望ましいとの結論に基づき、その機能や運営方式について、時代に対応した※I・O・Tサービスの提供や本市の歴史や文化を調査・研究できる※レファレンスサービスの充実とともに、専門職の配置などの必要性が掲げら

質問 生活保護制度の生活扶助費の引き下げが予定されているが、内容についてはどのよ



うになるのか。

答弁 生活扶助基準については、国において5年に一度検証が行われ、見直しが行われる。今回の見直しでは、減額される世帯があることから、激変緩和を図るため、3年間で、毎年10月に3回に分けて実施される。基準額からの減額幅をマイナス5%以内とする措置も講じられる。内容は、前回基準額と比べて「世帯人員別の基準額」については、減額となっているが、「年齢区分による基準額」は増額されている。

図書館の整備に関する市の考え方について 生活保護制度の見直しについて



いざわ ともかず
井沢共一 議員

日本共産党

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会

公共施設整備等特別委員会
(副委員長)

ブロック塀撤去に対する補助について 障がい者控除対象者認定について



たなか ひでたか
田中秀宝 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(委員長)

公共施設整備等特別委員会

質問 民間所有のブロック塀に対する本市の補助制度は、撤去事業では上限10万円、改善事業は25万円である。危険性は理解しつつも、金銭負担が重く実施に踏み出せないのが現実である。そこで、鎌倉市と同様な最大で工事額の90%を補助する制度を創設すべきだが。

答弁 大阪北部地震以降、ブロック塀の問い合わせがやや増えたが、設置箇所数に比べると非常に少ないと考える。本市独自の補助制度の創設は、改修を促進する一つの方策と考えるが、まずは所有者へ周知を図る取組を行い、どのような支援が必要か所有者から聞きながら他市町の取組を参考に研究していく。

質問 65歳以上で要介護認定を受けている方などを



対象に、常に寝たきりの状態など一定の条件を満たせば、障がい者控除対象者認定となり、確定申告において所得税や市県民税など障がい者控除が受けられるが、本市の認定者は何人か。

答弁 平成29年度は、37人に対して41件。平成30年度は、27人に対して39件。



かなもり かずみち
金森和道 議員

熱海進政会議員団
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(委員長)

熱海市介護サービス事業について 小水力発電について

質問 超高齢化と人口減少が進むなか、介護保険は、家族だけに任せず社会全体で支えるもの。被保険者は80歳、85歳になった時、今のサービスを受けられると期待し高い保険料を払っているが、他市町と比較して保険料の現在の状況は。介護サービス利用時に思うようなサービスを受けられないとの声を耳にする。サービス認知の対応は。

ている状況にある。介護保険サービスについては、制度開始から出前講座を開催するとともに、介護保険室の窓口や高齢者相談センターで説明をしている。要介護認定者が在宅サービスを利用する場合は、ケアマネージャーがサービスの説明をし、ケアプランを作成、サービスを受給している。

質問 小水力発電が宮川浄水場に導入されるが、水道水への影響安全性は保たれるのか。民間事業者の提案であり設置費用と維持管理費等、本市の負担はどのようになるのか。売電による本市の収入は。

回答 水道水の安全性については、ろ過と滅菌を行う前の原水により水車を回すため影響はない。発電システム設置から維持管理まで本市の負担はない。本市側の収入は、敷地の一部を貸し出すので行政財産使用料と売電利益還元金の収入を見込んでいます。



回答 本市の今期計画の介護保険料の月額基準額は5,400円で、静岡県平均、全国平均のいずれも下回っています。

議 会 の は て な ?

質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※____で表記されている言葉についての説明です。

P2
SNS

「Social Networking Service」の略。人同士のつながりを電子上で行う様々な機能をもった登録制のオンラインサービス。フェイスブックやツイッター、インスタグラムなど。

P3
DMO

「Destination Management Organization」の頭文字を取った単語で、自然や食など地域の観光資源に精通し、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを行う法人のこと。

P6
バトラー

「執事」のこと。あらゆる個人的要件に対応するお客様専属の係のこと。

P7
IOT

「Internet of Things」の頭文字を取った単語で、物体（モノ）のインターネットと呼ばれている。日常生活で使用している身の回りのあらゆるモノが、ネットワークに接続している姿を指す。

P7
レファレンスサービス

図書館利用者に対して、必要な資料や情報の提供等の援助をすること。

可決された意見書(要約)

意見書とは…市政の発展や市民生活の向上のために実現してほしい事柄について、市議会の意思として国会や関係行政機関に提出する文書のことです。

ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書(発議案第3号)

ゴルフ場利用税は、ゴルフ場が立地する場所に起因して生じる行政需要への対応に必要な財源をゴルフ場利用者に求めるという合理的な仕組みに基づく税であり、その税収の7割がゴルフ場利用交付金としてゴルフ場所在市町村に交付され、様々な行政サービスに使用されている。廃止された場合、地域住民だけの税金で賄うこととなり、理解しがたく不公平と言える。ゴルフ場特有の行政需要に対する重要な財源であることを改めて認識していただくとともに、現行制度を堅持されるよう強く要望するものである。

提出先：衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣、経済産業大臣

討論

討論とは…議会の会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの意見を表明すること。

反対 井沢共一議員

議案第46号 平成30年度熱海市一般会計補正予算(第2号)

マイナンバーカードについて、制度導入から2年7ヶ月が経過したが非常に低い交付率であり、制度導入自体に問題があることを考えれば、増額補正予算を認めることはできない。

認定第1号 決算認定について(平成29年度熱海市一般会計決算)

保険税の軽減を図るべきであり、国民健康保険制度への法定外繰り入れを復活すべきである。

認定第2号 決算認定について(平成29年度熱海市国民健康保険事業特別会計決算)

認定第5号 決算認定について(平成29年度熱海市介護保険事業特別会計決算)

認定第7号 決算認定について(平成29年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計決算)

国民健康保険事業特別会計・介護保険事業特別会計・後期高齢者医療事業特別会計の保険税(料)の徴収は、年金からの天引きである特別徴収である。本人に支給する以前に税(料)を徴収することは、憲法で保障された生存権を脅かすものであると考え反対する。

認定第8号 決算認定について(平成29年度熱海市水道事業会計決算)

認定第9号 決算認定について(平成29年度熱海市下水道事業会計決算)

認定第10号 決算認定について(平成29年度熱海市温泉事業会計決算)

県営駿豆水道の受水費について、その解消に向けた努力は不十分である。下水道、温泉事業会計については、公営企業会計で運営が行われることにより、利用料金的大幅は引き上げに繋がる可能性がある。特別会計による運営を行うべきであると考える。

反対 山田治雄議員

認定第9号 決算認定について(平成29年度熱海市下水道事業会計決算)

その他特別損失として計上された額に対する積算根拠が正当とは思えない。また、積算内容について本市は負担すべきでないものがあり容認できない。

●9月定例会 議決結果(本会議)

〈市長提出の議案等〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第46号 平成30年度熱海市一般会計補正予算(第2号)	可決(多数)	認定第1号 決算認定について(平成29年度熱海市一般会計決算)	認定(多数)
議案第47号 平成30年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	認定第2号 決算認定について(平成29年度熱海市国民健康保険事業特別会計決算)	認定(多数)
議案第48号 平成30年度熱海市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	認定第3号 決算認定について(平成29年度熱海市駐車場事業特別会計決算)	認定(全員)
議案第49号 平成30年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	認定第4号 決算認定について(平成29年度熱海市離島初島簡易水道事業特別会計決算)	認定(全員)
議案第50号 熱海市表彰条例の一部を改正する条例	可決(全員)	認定第5号 決算認定について(平成29年度熱海市介護保険事業特別会計決算)	認定(多数)
議案第51号 熱海市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決(全員)	認定第6号 決算認定について(平成29年度熱海市初島漁業集落排水処理事業特別会計決算)	認定(全員)
議案第52号 工事請負契約の締結について(南熱海支所・消防署南熱海出張所改築工事)	可決(全員)	認定第7号 決算認定について(平成29年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計決算)	認定(多数)
議案第53号 指定管理者の指定について(熱海市駐車場)	可決(全員)	認定第8号 決算認定について(平成29年度熱海市水道事業会計決算)	認定(多数)
議案第54号 指定管理者の指定について(熱海海浜公園)	可決(全員)	認定第9号 決算認定について(平成29年度熱海市下水道事業会計決算)	認定(多数)
議案第55号 指定管理者の指定について(熱海市児童発達支援センター)	可決(全員)	認定第10号 決算認定について(平成29年度熱海市温泉事業会計決算)	認定(多数)
議案第56号 指定管理者の指定について(姫の沢公園)	可決(全員)	報告第10号 専決処分の報告について(交通事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告
議案第57号 未処分利益剰余金の処分について(平成29年度熱海市水道事業会計)	可決(全員)	報告第11号 平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第58号 未処分利益剰余金の処分について(平成29年度熱海市下水道事業会計)	可決(全員)	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
議案第59号 未処分利益剰余金の処分について(平成29年度熱海市温泉事業会計)	可決(全員)		

〈議員提出の議案等〉

件名	議決結果	件名	議決結果
選任第1号 常任委員の補欠選任について(特別委員の補欠選任について)	選任	発議案第2号 特別委員会の設置について	可決(全員)
発議案第1号 感謝状の贈呈について(前副議長に対する感謝状の贈呈)	可決(全員)	発議案第3号 ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書	可決(全員)

結 果

9月定例会 賛成・反対が分かれた議案等(本会議)

議員名・会派名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	山田治雄	金森和道	小森高正	和田翔平	井沢共一	米山秀夫	泉明寺みずほ	田中秀宝	赤尾光一	越村修隆	竹部隆健	川口勝勝	杉山利勝	高橋幸雄	稲村千尋	議決結果
議案番号	進政	進政	進政	進政	共産	梁山泊	梁山泊	梁山泊	成風	成風	成風	成風	成風	成風	成風	
議案第46号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可
認定第1号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	認
認定第2号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	認
認定第5号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	認
認定第7号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	認
認定第8号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	認
認定第9号	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	認
認定第10号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	認

議長(12番 川口健)は採決に加わりませんので、「—」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。
 議決結果 可=原案可決 認=原案認定 採決結果 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席(遅刻、早退を含む。)
 会派名 成風=熱海成風会 進政=熱海進政会議員団 梁山泊=自民党・公明党・女性の会 熱海梁山泊 共産=日本共産党

委 員 長 報 告

●観光建設公営企業委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第46号 議案第57号 議案第53号 議案第58号 議案第54号 議案第59号 議案第56号	可決(全会一致)	公衆浴場設備改善助成費補助金及び地域商業パワーアップ事業費補助金について、増額補正するものなど、他の付託議案とともに必要な措置と認める。

●総務福祉教育委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第46号	可決(賛成多数)	新元号への対応に係る基幹系システム改修業務委託料の追加補正など、補正予算に対する様々な意見がなされたが、必要な措置と認める。
議案第47号 議案第51号 議案第48号 議案第52号 議案第49号 議案第55号 議案第50号	可決(全会一致)	熱海市表彰条例の一部を改正する条例について功労賞の対象者の要件を緩和することから、所要の改正をしようとするものなど、他の付託議案とともに必要な措置と認める。

●決算特別委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
認定第1号 認定第8号 認定第2号 認定第9号 認定第5号 認定第10号 認定第7号	可決(賛成多数)	子育て支援施策や高齢者福祉施策などの各種施策に対し様々な意見が出された。また、予算の執行率についても意見が出されたが、適正なものと認める。
認定第3号 認定第6号 認定第4号	可決(全会一致)	適正なものと認める。

各委員会行政調査報告

各委員会が実施した先進地への行政調査について報告いたします。

観光建設公営企業委員会

調査日程 平成30年7月3日～5日

調査先および調査内容

〈福岡県福岡市〉

・「夜のまち賑わいづくり」について

福岡市は、福岡空港と博多港を玄関口としたインバウンドとクルーズ船が夜の賑わいづくりの一役を担っている。福岡への直行便があるところにプロモーションの効果がみられる。福岡市と本市とでは、地理的な条件は異なっているが、本市でもターゲットを定めて、より一層効果的なプロモーションを行うことで更なる観光客の増加を図りたい。

〈長崎県長崎市〉

・観光政策について

長崎市の平成29年度の観光客数は過去最高となった。これはアジアを中心に外国人観光客の取り込みに力を入れてきた効果であるといえる。クルーズ客船入港による直接的な経済効果は大きいとはいえない部分もあるが、多くの人々に長崎市を印象づけることで海外にアピールする効果があったものといえる。本市においては、国内の総人口が長期の減少過程に入り、今後国内観光客の減少が予想されるなか、長崎市の取り組みをヒントに、インバウンドも含めた観光戦略を検討していく必要があると考える。



福岡市役所にて



長崎市役所にて

総務福祉教育委員会

調査日程 平成30年10月24日～26日

調査先および調査内容

〈秋田県秋田市〉

・エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）構想について

秋田市では高齢者がいつまでも活躍できるよう、「支える人」という目線ではなく、能力ややる気を活かしたうえで、社会の「支え手」として暮らしていける街を目指して、平成21年からエイジフレンドリーシティの取組を行っている。本市でも高齢者福祉施策の推進が急務であり、今度の対策を考える良い契機となった。

〈岩手県盛岡市〉

・公共施設アセットマネジメントについて

人口減少社会下において、公共施設の運営や維持管理に要する経費の縮減は、喫緊の課題である。盛岡市では市民フォーラムや市民討議・地区説明会を開催するなど市民の合意形成を十二分に行っている。本市においても推進しているところであり、今後の公共施設の管理について考える良い契機となった。



秋田市役所にて



盛岡市役所にて

10月23日に閉会した平成30年9月定例会、本定例会では例年どおり決算認定が行われました。主に行政が正しく予算を執行したのか、会計上の問題はなにかなどを綿密にチェックしてきました。また、齊藤市長が4期目の当選を果たし、公約に掲げてきた「宿泊税」を筆頭に各分野における政策の基本的な考えが表明されました。

本会議でも、各議員から決算に関する質疑はもちろん、所信表明に対する質問、特に宿泊税について質問が集中した印象を受けました。また、本年6月に開催された「熱海国際映画祭」に対する質問、そして、日本列島が多くの災害に見舞われたことから災害対策にも質問が集中しました。

質問が集中した所信表明ですが、やはり今後の市政運営の基本ですので各議員、それぞれの考えのもと厳しく、また必要な要望を織り交ぜ議論を行いました。

各議員の質問の意図や思いなどを損なわず市民の皆様にお届けする事が、我々議会だより編集委員会の使命であると肝に銘じ、今後も市民の皆様にとさらにわかりやすく読みやすい広報誌を目指して参ります。

議会だより編集委員
和田 翔平

次回の市議会だよりは、2月8日発行予定です。

〈議会だより編集委員会〉 委員長：越村 修 副委員長：井沢 共一
委員：杉山 利勝・和田 翔平・泉明寺みずほ